

宝物はすぐそばに

校内研通信

第19号

R7.10.22

発行者:校内研担当 仲村智

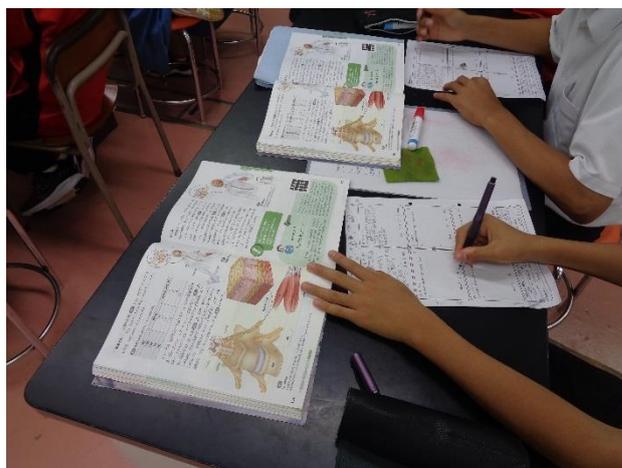
頑張ってる授業をみると笑顔になるのは「反射」でしょうか？

10月22日(水)2校時、2年8組にて眞座孝弥先生が理科の授業を公開しました。本時のねらいは、刺激に対し意識して起こす反応と無意識

(反射)の違いに着目して、そのしくみを説明できるようになることです。

活動①「定規を落としてキャッチ」と活動②「全員で手をつないで握ってつないでいく速度を測る」、これらの実測活動を中心に授業を展開してきました。生徒はあたかも自分たちの目標に向かって記録を高めようとする選手のように、また先生のコーチングのような声かけもあり、楽しそうに一体となって活動していきました。その中で、その反応の仕組みを電子黒板も活用しながら丁寧に共有することができました。自らの身体を使うことで、生徒は人体の不思議さや偉大さを実感できたことでしょう。

国立教育政策研究所学力調査官2名が参観するなか、堂々と授業を展開した孝弥先生、とても頼もしかったです🙏 ありがとうございました😊



RS
みつけた!

南風原町学力向上推進委員会 かすりっ子「学ぶ」プロジェクト

【RSの視点を意識した6つの授業改善のPoint!】より

【Point1】RSの視点で教科書を解像度高く読む!

- 一文が長く、文の構造を捉えにくい文章は明らかになっているか?
- 子供たちが教科書の文章を音読する際に、つまずく語句などを確認しているか?
- 省略されている主語や目的語は明らかになっているか?
- 教科書の図やグラフ等がどの文章と対応しているか明らかになっているか?

※RSの視点…リーディングスキルの6分野7項目の視点



本日の

キーワード

「親密度の低い言葉」・・・「聞きなれない言葉」や「聞いたことがある言葉」だけれども、意味を説明できない言葉」のこと。
初めて学習する言葉や定義、あるいは教科書や教科独特の言葉(学習言語)などが出てくる場合は、その言葉を意識して丁寧に指導していきましょう。